

再生可能エネルギーの重要な選択肢の1つ

洋上風力発電の取り組みを紹介します



詳しくは
こちら

洋上風力発電とは、海上に風車を設置し、**風の力を利用して発電**する方法のことです。
エネルギーの安定供給と脱炭素の両立に向けた、**再生可能エネルギーの切り札**として期待されています。

県では、今年4月に洋上風力発電の促進区域の候補として、**「いちき串木野市沖※」**を国に情報提供しました。

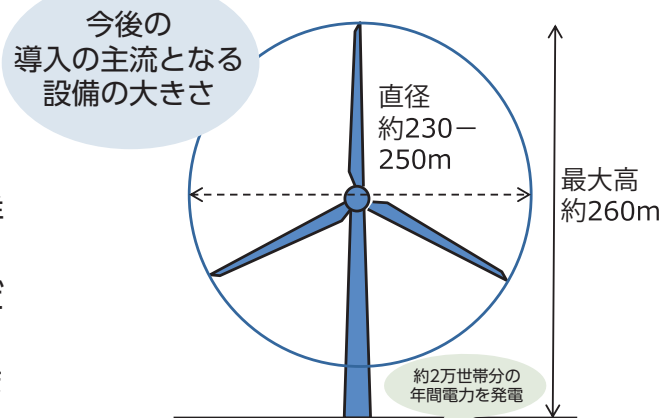
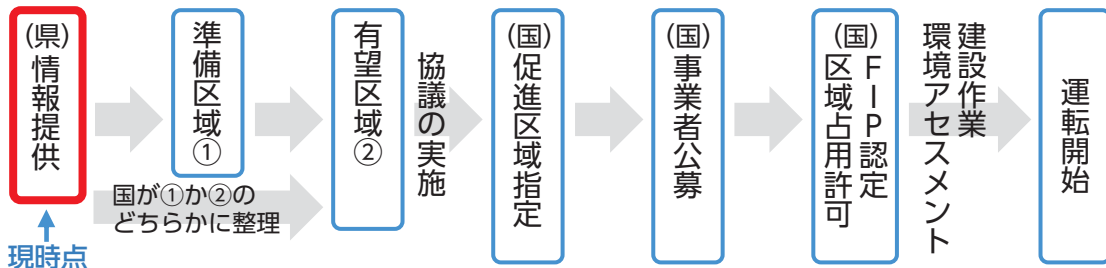
※ 同市沿岸から約5キロまでの海域

これまでの経緯

- 令和5年度から県が設置する研究会で、関係する市町や漁業者団体等の方々と洋上風力発電の導入の可能性について議論を重ねてきました。
- 研究会では、多くの方から国への情報提供について異論はないとの意見をいただきましたが、一部の方からは、漁業への影響を懸念する意見が示されました。
- 現在の研究会の枠組みでは、専門的知見等が不足しており、これ以上議論が深まらないことから、**国や有識者等の専門的な知見や技術を活用しながら、さらなる検討を行う必要がある**と判断し、今回、国に情報提供をしました。

今後の流れ

情報提供した区域が、国により「有望区域」とされた場合には、国や県、市町村、漁業者団体などで構成する法定協議会で具体的な協議を開始します。



洋上風力発電（15MW級）

出典：資源エネルギー庁資料（第1回洋上風力発電に関する研究会）を加工して作成



再生可能エネルギーと 地域との共生に関するセミナー

日にち 11月15日(土) 場所 下野建設文化ホール（日置市東市来町）
気象予報士でテレビ朝日お天気キャスターの依田 司氏による講演 ほか
※ 参加申し込み等、詳しくは県HPをご覧ください。



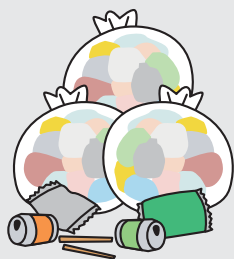
〈問い合わせ先〉 エネルギー対策課 099-286-2727

プラスチックごみを減らすために私たちにできること

街のプラスチックごみは
川を流れて海へ...
**どんな影響や
問題があるの？**



ポイ捨て
ペット
ボトル



ごみステーションに
散らばった
ごみ



レジャーで
出たごみ
釣り糸など

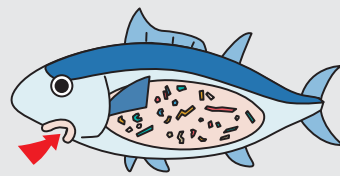
海洋生物・生態系への影響

クジラやウミガメなどが、エサと間違えてレジ袋などのプラスチックを飲み込むと、プラスチックが体内に溜まって衰弱死してしまいます



マイクロプラスチック問題

海に流れ出て波や紫外線で細かく砕けたマイクロプラスチックは、吸着した有害物質ごと生物に取り込まれ、それを人間が食べると、人体にも影響を与えます



今すぐできることから始めましょう！

毎日のごみを減らそう！

ごみはルールを守って出そう！

ごみを拾おう！

プラ製品の放置に気をつけよう！

放置すると劣化で細かく砕け、マイクロプラスチックになります

プラスチックは、
えらんで、減らして、
リサイクル！



海洋プラスチックごみ対策 普及啓発イベント

日にち 11月8日(土)
場所 AMU広場（アミュプラザ鹿児島）
※「君とAMUフェス!!!」ブース出展



海洋プラスチックごみを使った
アクセサリづくりなども体験
できます

プラスチックごみ問題について
わかりやすく解説した動画も公開中



〈問い合わせ先〉 廃棄物・リサイクル対策課 099-286-2594